

Blue Earth Project チームY（高2）

『美ら海から考え発信するSDGs』～全国イベント&研修ツアー報告～

松蔭高等学校 Blue Earth Project チームY（高校2年 19名）は、NPO法人 Blue Earth Project（松蔭高等学校在学時 Blue Earth Project 活動を行った女子大生 11名）の先輩とともに沖縄へ研修に行ってきました。「美ら海から考え発信するSDGs」をテーマに、2019年11月23日（土）はオキナワ マリオット リゾート & スパのホテルロビーで、24日（日）はイオンモール沖縄ライカム 3階ステージ「エア」にてカードゲームや工作体験、MY WORLD 2030 のアンケートを実施。環境について楽しく学べる啓発イベントを開催しました。



イベントブースでは2015年9月に国連で開かれたサミットで世界のリーダーによって決められた、2030年までの国際社会共通の目標「SDGs（持続可能な開発目標）」の目標に照らし合わせて、身近な生活の中から「SDGs」を学ぶカードゲームや、使わなくなった保冷剤を工作して有効活用する事でのエネルギー対策、間伐材を積極的に使う事で陸の豊かさを守る事など、女子高生らしく、楽しく身近にできるアクションを伝えました。また、オキナワ マリオット リゾート & スパでは今年の2月から導入された「紙ストロー」についてレストランマネージャー兼マリオットジュニアカウンシル担当である伊波大輝様にインタビューさせていただき、ホテルでの取り組みや意識の変化、沖縄という場所でしか知ることのできない様々なお話を伺うことができました。



イオンモール沖縄ライカムでは、沖縄琉球 Blue Earth Project（沖縄県立具志川高等学校）の仲間とも夏の全国活動報告会ぶりに再会し、一緒に啓発イベントを行いました。イベント会場には多くの方にお越しいただき、イベントを通して沖縄の美しい海から環境問題を考えていただけるきっかけづくりができたと思います。SDGs（持続可能な開発目標）実現に向けた国連の行っている世界的な市民リサーチ「MY WORLD 2030」のアンケートにも多くの方に協力していただくことができました。



ハードスケジュールの中、天候にも恵まれ、3年前の Blue Earth Project の先輩が「サンゴ保全活動」をテーマに、沖縄の恩納村の海にサンゴの苗づくりを行ったサンゴ畑にも足を運び、今年の派遣メンバーもサンゴの苗づくりを行い、サンゴ畑を見てくることができました。実際に自分の目で見て体験した経験は、大きな財産になりました。



次は12月より高校3年生の Blue Earth Project が始まります。先輩とともに女子校生らしく、楽しみながら環境について啓発していくことを進めていきたいと思います。

今後の松蔭高校 Blue Earth Project の活動にご期待下さい。

